

日本共産党港区区議会議員
熊田ちづ子

2001年5月
NO. 34

- 発行 -
日本共産党港区議員団
TEL: 3578-2111 (2945)
連絡先: 港区東麻布
2 - 3 - 7
TEL: 3583-1402

無料生活相談

毎月十二日 夜六時

飯倉福祉会館を予定しています

「ご連絡をください」

介護保険の保険料・利用料の減免 十月実施を約束 区議団の一貫した要求と住民運動が議会と区を動かす

二月二十一日に開かれた予算特別委員会で、原田区長は、「本年十月を目途に、保険料および利用料の所得実態等に即した軽減策を実施に向け検討したい」と、保険料・利用料の軽減策の実施を約束しました。

三月十六日に開かれた予算委員会で、全会派が一致して「保険料・利用料の軽減を求める要望書」を提出しました。それに応える形で先の発言になったものです。

介護保険が始まって一年、六五才以上の高齢者すべての人から保険料（現在は1/2）の徴収が始まって半年、この間多くの方から保険料や

喫茶たんぽぽ新橋店がオープン

喫茶たんぽぽは、知的障害の人們が、社会参加の第一歩として働くお店です。浜松町の区立障害者センター（ヒューマンぷらざ）につづく第二号店が新橋駅前の区立生涯学習センター内に四月十七日にオープンしました。

新橋店は、正会員その他、障害者を支える指導員三名の七名で運営に当たります。お近くに

利用料の負担が大変という声が寄せられています。日本共産党港区議団は、一貫して定例会の代表質問や予算・決算特別委員会等で、区独自の保険料、利用料の減免制度を求めてきました。

三月議会には介護保険料・利用料の減免のための条例提案を準備し、各会派へ共同提案をよびかけました。また、三月議会には四団体から「保険料・利用料の減免を求める請願」が提出されています。

これまで、保険料・利用料の減免をかたくなに拒否してきた原田区長も、こうした区民や議会の要望に答えざるをえなくなったものです。

党議員団の質問に区長が「全力で取り組む」と答弁

昨年十二月十二日に都営地下鉄大江戸線などの全線開業に伴う都バス路線の廃止・縮小などに、復活を望む声が益々大きくなっています。

党区議団は第一回定例会の代表質問で、「通院や買い物など区民は毎日不便な思いをしている。都バス路線の復活のため、都との協議を早急に行うこと、同時に議会や老人会などと一体となって復活に全力をあげるべきだ」と強く求めました。区長は「これまで寄せられた区民の声を踏まえ、議会とも連携して全力で取り組んでいきたい」と答弁。

予算委員会での質問でも、「区として、庁内に調査チームを作り、区

介護保険の苦情処理の第三者機関が設置されます

区議団は、区民の苦情などを受付ける「保健福祉オンブズパーソン条例」を九九年第四回定例会に提案し、委員会で継続審議になっていました。当面は、介護保険に限っていますが、今後は福祉施策全体に拡大していく方針です。

党区議団が提案していたオンブズパーソン条例とはば同様の第三者機関が発足することになります。実施時期は五月ごろの予定です。

民の公共施設などへの交通手段など、区内の交通利用の実態調査を行います。調査チームについては、区民生活のあらゆる分野に影響するため、都交通局の協力を得るとともに、区内の英知をあつめられるよう、効率的な執行体制で取り組んでまいります」と答弁しました。

日本共産党もくばた都議を先頭に住民と一緒に数回にわたり都と交渉を重ねてきました。引き続き区民の外出の貴重な足を確保するため、頑張ります。

昨年の 不服審査で二三件が減額修正

固定資産税

今年も不服申し立てができません

（左）都議 光た く ため、税の減税、資産税の固定資産税と「会」事務局長

正率が正しくないこと、不動産鑑定士の鑑定の矛盾等々を具体的に示し、固定資産税の評価と税額を実態に見合せて引き下げるべきだと主張してきました。その結果、申し立てをした方の内二三件が、不整形地や私道部分の是正などで減額修正されます。最大で一二・五％の減額修正です。減額修正された方は、「多くの不服申し出と具体的な審査会での矛盾点の追及が力になった」と語っています。

高い固定資産税の評価と税額を大幅に減額せよと、昨年度の東京都への不服申し出は、港区で一四五人、千代田・新宿区も参加、二〇〇名となりました。

高い固定資産税から営業と住まいを守る会は、都の審査委員会の中で評価が売買実例のほぼ二倍にもなっていることや、不整形地の評価の修

都市型水害対策の ための三カ年計画

この間の都市型水害によって、思いもかけない被害を受けました。

被災地域のみなさんの粘り強い運動と、党区議団の議会での提案で、港区と東京都が「雨水対策検討委員会」を設置し、集中豪雨対策を検討してきました。その結果、東京都下水道局のクイックプランとあわせ、浸水地域を中心に透水性舗装、浸透性U字溝、浸透枳、横断溝等々、都市型水害の対策を二〇〇一年度～二〇〇三年度の三年間で実施する計画を発表しました。今年度は約一億七千万円の予算が計上されています。その他にも、東大医科学研究所内や聖心女子学院内に、集中的な豪雨を一時貯めておく貯溜槽の設置が決まっています。

要求実現に

がんばる

三月に開かれた第一回定例区議会は二〇〇一年度予算が審議されました。日頃皆さんから寄せられている要望を元に質問しました。主な質問項目は次の通りです。審議会や協議会の開催日は、広報みなとで周知すべき
審議会等の議事録は区政情報室で閲覧できるように
特養ホームの待機者数を区は実数で把握すべき
特養ホームの削減された補助金の復活を都に求めよ
保健所職員の実態にあつた配置
三田一丁目再開発事業について
全ての情報を公開し、住民が納得のいく街づくりを

守る会の世話人でもある、くばた光都議は、「住民のみなさんが声を上げてきたことが、今回の重要な成果につながっています。都議会でも引き続き大幅減税のため、都の姿勢を正していきたい。同時に、今年度も申し出される方を広げていきたい」と決意しています。

学校予算を平成七年度水準に戻せ

毎年、小学校・中学校校長会や園長会、教職員組合は、学校予算の増額を要求しています。

「財政難」を口実に学校予算が大幅に削減されています。例えば小学校運営費は平成七年度と平成十二年度を比較すると四十九・九％という状況です。これでは、備品の買い替えはおろか、学校運営にも支障が生じかねません。

共産党議員団は、予算特別委員会で、学校の一般運営経費を少なくとも平成七年度水準まで戻すよう要求しました。